

新世纪日语

しんせいきにほんご

丛书主编 吴侃
主 编 徐曙
副主编 周新平
林进
编 者 许磊
杨阳
黎又榕



附赠光盘

中国图书馆(CIP)数据

新世纪日语教材 第四册 吴侃 徐曙 周新平 林进 许磊 杨阳 黎又榕 大连理工大学出版社 2013.1

大连理工大学出版社

大连理工大学日语教材

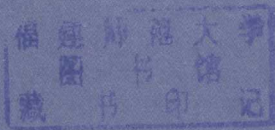
ISBN 957-7319-0

新世纪日语

中国图书馆(CIP)数据(2013)第22822号

しんせいきにほんご

丛书主编 吴侃
 主 编 徐曙
 副主编 周新平
 林进
 编 者 许磊
 杨阳
 黎又榕



T1106481

1106481

图书在版编目(CIP)数据

新世纪日语. 第4册 / 徐曙主编. — 大连: 大连理工大学出版社, 2013.1
高等学校日语教材
ISBN 978-7-5611-7319-0

I. ①新… II. ①徐… III. ①日语—高等学校—教材
IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2012)第 223555 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail:dutp@dutp.cn URL:http://www.dutp.cn

大连日升印刷厂印刷

大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm×260mm	印张:20.25	字数:500千字
附件:光盘1张		印数:1~4000
2013年1月第1版		2013年1月第1次印刷

责任编辑:宋锦绣 张凡 责任校对:孙健淞 李静 王鑫
封面设计:山野物语

ISBN 978-7-5611-7319-0

定 价:40.00 元



前 言

随着日本语能力考试新题型的推出，越来越多的日语学习爱好者都迫切希望能够得到一本内容新颖、针对性强、效果显著的应对日本语能力考试新题型的学习教材。为了满足广大日语学习爱好者的需求，我们及时策划并完成了《新世纪日语》第四册的编写。本教材针对日本语能力考试新题型，融入大量针对日本语能力考试新题型的句型、语法、词汇等学习、训练内容，旨在让学习者通过本教材的学习和训练，能够在较短时间内全面掌握日语中使用频率高的词汇、句型、语法与惯用语，达到日语能力 N1 级水平。

《新世纪日语》第四册，共 20 课，适合具有一定日语基础的学习者使用。每课由课文、会话文、句型与语法说明、表达及词语用法说明、练习、词汇表一和词汇表二组成。课文内容以反映日本现代生活、自然环境、科技发展、精神文化等人文气息浓厚、时代信息感强的素材为主题，力求通过课文的学习和理解，让学习者深入了解日本文化和日本社会，了解日本民族特征和日本人的生活习惯及思维方式。

《新世纪日语》第四册对日语中实用性强的句型和语法进行了全面解析，课文布局采取了由浅入深、循序渐进的方式展开，适合中上级日语学习者使用。既可作为日语学习爱好者的学习用书，也可作为各类日语培训班提高日语能力、应对日本语能力考试的辅助教材。同时，还适用于本科、高职等各类高等院校日语专业课程的学习教程。

为了方便自学者学习，我们为本教材配备了 MP3 录音光盘，光盘中还有针对全书内容总结归纳的“语法句型”和“总词汇表”可供学习者下载使用。

由于时间比较仓促，加之编者水平上的局限，书中难免存在疏漏甚至错误，衷心希望广大读者批评指正。

编 者

2012 年 9 月于上海

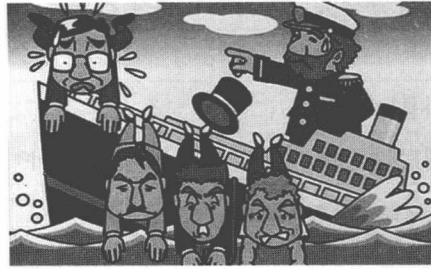


目 录

	课文	译文	参考答案
第一課 海外から見た日本人……………	1	263	289
第二課 おみやげ……………	11	264	290
第三課 二十歳……………	24	265	291
第四課 ジョーク……………	36	266	293
第五課 ボッコちゃん……………	51	267	294
第六課 花のレクイエム……………	64	269	295
第七課 分相応と分不相応……………	77	270	297
第八課 電車の中のプライバシー……………	87	271	298
第九課 「消費は美德」でいい?……………	98	272	299
第十課 「済まない」は流れを濁らせたこと……………	114	273	301
第十一課 買物……………	126	274	303
第十二課 投書……………	141	275	304
第十三課 泥棒……………	155	277	306
第十四課 アサーティブな日本語……………	168	278	307
第十五課 トーキョーっていいよね……………	181	279	308
第十六課 オッココチョコイ……………	194	281	310
第十七課 みみずくの夜メール……………	207	282	311
第十八課 サンデー時評……………	221	284	313
第十九課 遊びこそが文化の本質……………	237	285	314
第二十課 オバさんの逆襲……………	250	286	316



第一課 海外から見た日本人



本文

海外の人から見て、日本人はどのようなイメージでとらえられているでしょうか？

さまざまな国の人々の国民性の特徴をうまく表現したジョークに、次のようなものがあります。

波の高い海で、人が大勢乗り過ぎた救命ボートを想像してください。このままでは沈んでしまうかもしれないという状況で、キャプテンが女性・子どもたちを救うために丈夫な男たちに救命具をつけて海に飛び込んでくれと頼みます。

英国人には「君は紳士だね」と言えば、英国人は「もちろん」と飛び込みます。ドイツ人には「船長の命令だ」で十分です。イタリア人には「飛び込んではいけないよ」と言うのと飛び込みます。命令や体制を嫌う国民性ですから。アメリカ人には「生命保険がたくさんかけてあるよ」です。



日本人には、船長は目立たぬようにそっと耳元にささやきます——「皆さん、飛び込んでいらっしゃいますよ」と。日本人は、他の国々、または、他の人たちがどうするかをよく観察してから、つまりコンセンサスの形成を待ってから行動すると思われているのです。

なぜ、日本人は個人として行動しないのか、といった説明をするときにこのジョークを使うと効果的です。いろいろな国民を順番に茶化しているようですが、最後に自分たちを持ってくる限り、それは、「自分を笑いの材料に供するジョーク」として、品の良いユーモアとされるのです。

私は日本人の国民性を、外国の人たちに説明するとき、このジョークをよく使います。ほかのいくつかの国の国民性と比較してみると、とてもおもしろくて皆よく笑いますが、それは巧みに一面の真実を語っているからです。

大事なことは、聴き手をこうして笑わせ、自分たちの短所ともいえる点を指摘されるのを待たずに、自分から率直に認めることで、相手方の心を開かせることができるということです。その上で、自分の主張したいことを述べるならば、その主張はより好意的に耳を傾けてもらえるでしょう。

もう一つ、日本人の特徴として、独創性よりは応用の才能に優れているというのが、昔からの普遍的な見方でした。海外のアイディアをよく研究し、しばしば模倣に巧みだっただと思われていました。

そこで、次のような笑い話が成立し、語り継がれてきています。大学の先生が「象」について論文を書いてくるようにと学生たちに宿題を出しました。

ドイツの学生は、「象の存在についての哲学的考察」という分厚い論文を提出しました。それも「——その序論」と書いてあります。イギリスの学生は、「アフリカで象狩りを楽しむ法」という、旅行案内のような論文を書きました。フランスの学生が出したのは、「象とその性生活」という随筆風の論文です。実利主義のアメリカ人学生は、営業案内風の「趣味と実益を兼ねて裏庭で象を飼育する法」という論文を提出します。

さて、日本人の学生が書いたのは、「世界各国における象研究の比較」というものだった。——というのがこの笑い話の「落ち」です。

日本人が外国の人たちにこのジョークを語ることは、日本人が物まねが上手だと認めることにはなりません。「——という古いジョークがありますが」と聴き手を笑わせておいてから、実は今日の日本人はさまざまな独創的なものを生み出している、といった話に進めていくことができるのです。



参考までに、他のいくつかの国を取り上げてみましょう。

ロシア人…「いかにしてわれらの先祖が象を発明したか」。飛行機を発明したのはライト兄弟ではない、とか何でも先に発明したのは自分たちだと主張したがる国民性がネタです。

カナダ人…「カナダ象とアメリカ合衆国象の違いについて」。カナダという国の影の薄さ、アイデンティティーの希薄さに悩む国民心理が下敷きになっている笑いです。

中国人…「象の料理法」。

いかがでしたか。「日本人にはユーモアがない」などと言われると、私は反論します。「ユーモアがないのではなく、それを活用する場が違うのです」と。親しい間同士では笑い話をするのですが、パブリックな場ではユーモアを出さない、というのが日本人です。

(東京外国語大学『実力日本語』凡人社)



生 詞 表 一

なみ②	【波】	<名>	波, 波浪
ジョーク①	【joke】	<名>	诙谐, 玩笑, 笑话
のりすぎる④	【乗り過ぎる】	<自一>	超員
きゅうめいボート⑤	【救命boat】	<名>	救生艇
しずむ③	【沈む】	<自五>	下沉, 急剧下降
キャプテン①	【captain】	<名>	船长, 舰长, 机长
きゅうめいぐ③	【救命具】	<名>	救生工具
とびこむ③	【飛び込む】	<自五>	纵身跳入, 突然闯进
せんちょう①	【船長】	<名>	船长
たいせい⑩	【体制】	<名>	体制, 制度
せいめいほけん⑤	【生命保険】	<名>	生命保険, 人寿保险
みみもと⑩	【耳元】	<名>	耳根, 耳旁, 耳边
ささやく③	【囁く】	<他五>	低声私语, 耳语
かんさつ⑩	【観察】	<名・他サ>	仔细观察
コンセンサス③	【consensus】	<名>	意见一致, 同意, 赞同



ちやかす②	【茶化す】	<他五>	逗笑，开玩笑，挖苦，嘲弄
きょうする③	【供する】	<他サ>	供，献，拿出，端出，提供
しな①	【品】	<名>	物品，品种，品质
たくみ①	【巧み】	<名・形动>	巧，巧妙
いちめん①	【一面】	<名・副>	一面；整个，完全，另一面
ききて①	【聴き手】	<名>	听的人，听者
してき①	【指摘】	<名・他サ>	指摘，指出
そっちょく①	【率直】	<形动>	坦率，直率，爽快
こうい①	【好意】	<名>	好感，好意，善意
みみをかたむける	【耳を傾ける】	<词组>	注意听，侧耳倾听
どくそうせい④	【独创性】	<名>	独创性
おうよう①	【応用】	<名・他サ>	应用，使用
もほう①	【模倣】	<名・他サ>	模仿，仿照，仿效
アイデア③	【idea】	<名>	主意，想法，念头
かたりつぐ④	【語り継ぐ】	<他五>	口传，口头流传
こうさつ①	【考察】	<名・他サ>	考察，研究
ぶあつい①③④	【分厚い】	<形>	厚的，较厚的
じょろん①	【序論】	<名>	绪论，序论
ぞうがり①	【象狩り】	<名>	猎象
せいせいかつ③	【性生活】	<名>	性生活
ずいひつふう⑤	【随筆風】	<名>	随笔风格
じつりしゅぎ④	【実利主義】	<名>	功利主义
じつえき①	【実益】	<名>	实际利益，纯利

句型与语法说明

1. ～（で）てはいけない

・イタリア人には「飛び込んではいけないよ」と言うと飛び込みます。

【动词・形容词连用形】てはいけない

【形容动词】ではいけない

表示禁止或规定。在会话中，一般用于上司对部下，长辈对晚辈。

○この場所に駐車してはいけないらしい。

○定形郵便物は50グラムより重くてはいけない。



○登校の際の服装はあまり派手ではいけない。

○熱のある人はお風呂に入ってはいけない。

2. ～限り

・いろいろな国民を順番に茶化しているようですが、最後に自分たちを持ってくる限り、それは、「自分を笑いの材料に供するジョーク」として、品の良いユーモアとされるのです。

①【动词连体形】限り 只要……就……

表示事物的限度或范围，并以此作为既定条件，在这种条件下必定会产生后果。

○この家にいる限り、何も心配なくていい。

○彼がこの学校の校長でいる限り、校規は変えられないだろう。

○両親と一緒に暮らしている限り、自由にはならない。

○核兵器が存在する限り、核戦争の危険は必ず存在する。

②【动词连体形・体言(の)】限り 全部……，尽……

○できる限りの努力はした。後は結果を待つだけだ。

○力の限り助けてあげます。

○戦後、このあたりは見渡す限り焼け野原だった。

○選手たちは命の限り戦ったが、敗れてしまった。

3. ～を待たずに

・大事なことは、聴き手をこうして笑わせ、自分たちの短所ともいえる点を指摘されるのを待たずに、自分から率直に認めることで、相手方の心を開かせることができるということです。

「～を待たずに」没等……就……。

○両親の言うことを聞くのを待たずに、家をでる。

○授業の終わるのを待たずに、彼は席を外した。

○お湯の冷めるのを待たずに、飲む。

○彼は人の答えを待たずに、ひたすら独り言を言う。

4. ～ならば

・その上で、自分の主張したいことを述べるならば、その主張はより好意的に耳を傾けてもらえるでしょう。

「～ならば」如果……，接在句子后面，表示假设。

○もし、家に居たならば、電話にでる。

○もし、今日晴れたならば、洗濯物を干そう。

○出発点のAが偽ならば、「結論」Bは何であつても、その推論自体は間違っていないのです。

○外国に行きたいならば、私に連絡してください。



5. ～に優れている

- ・ もう一つ、日本人の特徴として、独創性よりは応用の才能に優れているというのが、昔からの普遍的な見方でした。
- 「～に優れている」 擅长……，善于……，在某些方面强于其他人，表示状态。
- この製品は値段が比較的安いのみならず、技術的に優れている。
- 彼はピアノに優れている。
- 我が社の製品は性能的に優れているのみならず、値段も安い。
- この服はデザイン的に優れている。

6. そこで

- ・ そこで、次のような笑い話が成立し、語り継がれてきています。
- 「そこで」 因此，所以，于是……
- あまり時間がない。そこで、結論を急ごう。
- 彼は簡単に承知しないだろう。そこで、いい考えを思いついた。
- 先生はもっと簡単な計算の方法があるとおっしゃいました。そこで、私はもう一度考えることにしました。
- ラッパが鳴った。そこで、みんなが教室に入った。

7. ～ようにと

- ・ 大学の先生が「象」について論文を書いてくるようにと学生たちに宿題を出しました。
- 「～ようにと」 为了……，希望……。表示行为主体的希望、愿望，是「……ようにしようと思って」或「～ようにしなさいと言って」的简略形式。
- 部長、ただいま社長から至急来るようにとの電話がありました。
- 私は朝一番の急行に間に合うようにと、目覚まし時計を5時にあわせた。
- 彼は、いつ呼ばれてもすぐ飛び起きられるようにと、着物を着たまま寝ていた。
- 旅先では決して生水は飲まないようにと母から言われた。

表达及词语用法说明

1. しずむ【沈む】[自五]

下沉，急剧下降；消沉，郁闷

- その船が水に沈む。
- 彼が沈んだ顔をしている。
- 日が西に沈む。
- 海水の上昇がこのペースで進めば、確実に島そのものは海底に沈む。



2. とびこむ【飛び込む】[自五]

纵身跳入, 突然闯进, 参加, 投入

- 勇気を出して水に飛び込む。
- 革命運動に飛び込む。
- 予定外の仕事が飛び込む。
- 仲間を助けようと彼が川に飛び込む。

3. そっと[副]

悄悄地, 偷偷地, 静静地

- みんながぐっすりと寝込んでいるから、彼がそっと歩く。
- 誰も知らないようにそっとことを運ぶ。
- 答えをそっと教える。
- そっと触れる。

4. ささやく【囁く】[他五]

低声私语, 耳语, 说悄悄话

- 愛の言葉をささやく。
- 姉は私の耳元にささやく。
- 寝る前に囁く声がきこえてくる。
- あなたに「まけろ」とささやく。

5. きょうする【供する】[他サ]

供, 献, 拿出, 端出, 提供

- 茶菓を供する。
- 墓前に花を供する。
- 公共施設の用に供する土地は、原則として、国又は地方公共団体が所有することです。
- 私の言葉は参考に供する。

6. しな【品】[名]

物品, 品种, 品质

- 所変われば品変わる。
- その店の商品は品が落ちる。
- これは品のいい言葉遣いについての本です。
- 品のいい服とはどのような服を言うのでしょうか。

7. より[副]

更加, 更

- ゆっくり食べた方が早く食べるよりいい。
- より多くの人に参加してほしい。
- 国民がよりよい生活を送りたい。
- より安全な場所で遊ぶ。



8. みみをかたむける 【耳を傾ける】[詞組]

注意听，侧耳倾听

- 素直な心というものは、だれに対しても何事に対しても、謙虚に耳を傾ける心である。
- 友達はいつもわたしのなやみに耳を傾ける。
- 地域の声に耳を傾ける。
- 他人に意見は謙虚に耳を傾けよう。

9. おち【落ち】[名]

落下，遗漏，结果，“落语”等中最后打诨结尾的部分

- そうなるのが落ちだ。
- 落ちが決まると話が収まる。
- 「実は夢でした」という落ちで締める。
- 名人になると落ちなくても問題ないらしい。

10. したじき【下敷き】[名]

垫板，样板，垫在底下

- この新作は古典を下敷きにした作品です。
- 倒木の下敷きになる。
- 突然隣にいた女性が倒れてきて、腕が下敷きとなり、骨折しました。
- 車の下敷きになる。

练习



一、根据课文的内容回答问题。

1. 海外の人から見て、日本人はどのようなイメージでとらえられているですか。
2. イタリア人はどのような国民性をもっているのか。
3. 作者は日本人についてどう思いますか。
4. なぜ「日本人にはユーモアがない」などと言われますか。

二、用平假名给下列单词标上读音。

救命具 随筆風 実利主義 実益 指摘 率直 好意 応用 模倣 船長 飼育 希薄

三、选出与日语解释相同的单词。

飛び込む 囁く 巧み 率直 応用 分厚い



- | | | |
|------------------------------|---|---|
| 1. ごく小さい声で物を言う。 | 【 | 】 |
| 2. 勢いよく何かの中に入り込む。 | 【 | 】 |
| 3. 飾り気がなく、ありのままなこと。 | 【 | 】 |
| 4. 相当に厚みがある。 | 【 | 】 |
| 5. 原理や知識を実際的な事柄に当てはめて利用すること。 | 【 | 】 |
| 6. 技術の限りを使って本来の目的を達する様子。 | 【 | 】 |

四、选择适当的词完成句子。

いかに 考察 聞き手 分厚い 乗り過ぎる 指摘

- いい（ ）になるのは難しい。
- （ ）急いでも間に合わない。
- もっと（ ）布団がほしい。
- 今回の会議はこの問題点を（ ）する。
- 先生は私の論文の不備な点を（ ）する。
- 人の（ ）バスが危ないです。

五、从A、B、C、D中选择最合适的填入句子的下线中。

- あのレストランの料理は量_____味_____文句のつけようがない。

A とに/とに	B をよそに/をよそに
C をかね/をかね	D といい/といい
- いくら急いだ_____、始発のバスにはもう間に合わない。

A もので	B ようで
C ところで	D かぎりで
- 努力する_____、きっと成功を収める。

A 限り	B なければ
C べき	D から
- 今日の会合には、どんな手段を_____時間どおりに到着しなければならない。

A 使おうとして	B 使っても
C 使いつつ	D 使ううちに
- 旅館に着くと、従業員たちが笑顔で「ようこそ_____。」とあいさつしてくれました。

A お越しくございました	B お伺いしました
C お呼びいただきました	D お迎えしました



六、完成下列句子。

1. 姉ときたら、_____。
2. 田中さんは本当にいい人ですね、_____。
3. 体が丈夫だとしても、_____。
4. もし、もう一度生まれ変われるならば、_____。
5. 厚くなったとたんに、_____。
6. 勉強もしないで、_____。

七、将下列句子译成日语。

1. 这里不可以吸烟。
2. 他很擅长演讲，所以经常参加比赛。
3. 为了不迟到，我叫了出租车。
4. 可能那家店会更便宜。
5. 据说只要他当选了，生活困难的人就会变少。
6. 如果贵公司违约的话，就要负全部责任。



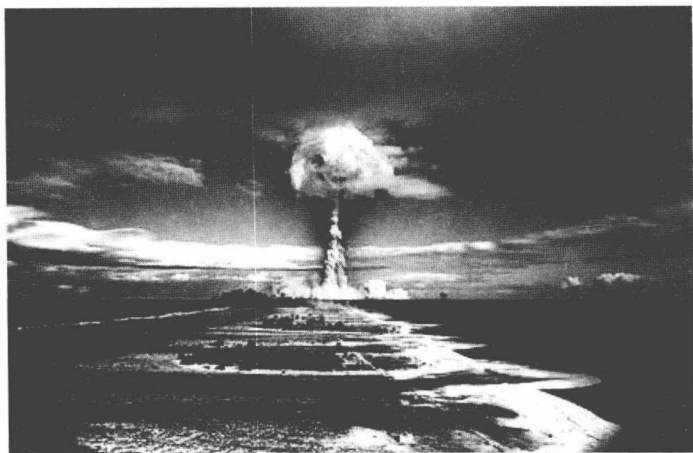
生词表二

うらにわ①	【裏庭】	<名>	内庭
しいく①	【飼育】	<名・他サ>	饲养
おち②	【落ち】	<名>	落下，遗漏，结果，“落语”等 中最后打诨结尾的部分
いかに②	【如何に】	<副>	怎么也，无论怎么也；如何，怎 么样
せんぞ①	【先祖】	<名>	祖先，始祖
ライトきょうだい④	【Wright兄弟】	<名>	莱特兄弟
ネタ①		<名>	新闻报道的材料，证据
アメリカがっしゅうこく⑤	【America合衆国】	<名>	美利坚合众国
アイデンティティー③	【identity】	<名>	同一性
きはく①	【希薄】	<名・形动>	稀薄，缺乏
したじき①	【下敷き】	<名>	垫板，样板，垫在底下
はんろん①	【反論】	<名・自他サ>	反论，反驳
かつよう①	【活用】	<名・自他サ>	运用，应用
パブリック①	【public】	<形动>	公众的，大众的



第二課 おみやげ

星 新一



本文

フロル星人たちの乗った一台の宇宙船は、星々の旅を続ける途中、ちょっと地球へも立ち寄った。しかし、人類と会うことはできなかった。なぜなら、人類が出現するよりずっと昔のことだったのだ。

フロル星人たちは宇宙船を着陸させ、ひと通りの調査をしてから、こんな意味のことを話しあった。

「どうやら、わたしたちのやってくるのが、早すぎたようですね。この星には、まだ、文明らしきものはない。最も知能のある生物といたら、サルぐらいのものなのです。もっと進化したものがあらわれるには、しばらく年月がかかります。」

「そうか。それは残念だな。文明をもたらそうと思って立ち寄ったのに。しかし、このまま引きあげるのも心残りだ。」

「どうしましょうか。」



「おみやげを残して帰るとしよう。」

フロル星人たちは、その作業にとりかかった。金属製の大きなタマゴ型の容器を作り、そのなかにいろいろなものを入れたのだ。

簡単に星から星へと飛びまわれる、宇宙船の設計図。あらゆる病気をなおし、若がえることのできる薬の作り方。みなが平和に暮らすには、どうしたらいいかを書いた本。さらに、文字のできる薬の作り方。さらに、文字が通じないといけないので、絵入りの辞書をも加えた。

「作業は終わりました。将来、住民たちがこれを発見したら、どんなに喜ぶことでしょう。」

「ああ、もちろんだとも。」

「しかし、早くあけすぎて、価値のある物とも知らずに捨ててしまうことはないでしょうか。」

「これは丈夫な金属でできている。これをあけられるぐらいに文明が進んでいけば、書いてあることを理解できるはずだ。」

「そうですね。ところで、これをどこに残しましょう。」

「海岸ちかくでは、津波にさらわれて海の底に沈んでしまう。山の上では、噴火したりするといけない。それらの心配のない、なるべく乾燥した場所がいいだろう。」

フロル星人たちは、海からも山からもはなれた砂漠のひろがっている地方を選び、そこに置いて飛びたっていた。

砂の上に残された大きな銀色のタマゴは、昼間は太陽を反射して強く光り、夜には月や星の光を受けて静かに輝いていた。あけられる時を待ちながら。

長い長い年月がたっていった。地球の動物たちも少しずつ進化し、サルの間の中から道具や火を使う種族、つまり人類があらわれてきた。

なかには、これを見つけた者があったかもしれない。だが、気味悪がって近よろうとはしなかったろうし、近づいたところで、正体を知ることはできなかったにちがいない。

銀色のタマゴはずっと待ち続けていた。砂漠地方なので、めったに雨は降らなかった。もともと、雨で濡れても錆びることのない金属でできていた。

時どき強い風が吹いた。風は砂を飛ばし、タマゴを埋めたりもした。しかし、埋めっぱなしでもなかった。別な風によって、地上にあらわれることもある。これが何度となく、繰り返されていたのだった。